

(参考様式第2号)

炭素貯留効果の高い堆肥の水質保全に資する施用関係

施肥管理計画

堆肥からの肥料成分量の計算

堆肥の種類	堆肥の成分含有率(現物%)		
	N 全窒素	P リン酸	K 加里

堆肥の施用量 (kg/10a)	×	堆肥の成分含有率 (現物%)	×	肥効率 ¹ (%)	=	堆肥からの成分量(A) (kg/10a)
	×	N	×		=	N
	×	P	×		=	P
	×	K	×		=	K

堆肥の肥料成分を勘案した施肥計画

堆肥施用後の作物名	必要とする投入成分量(kg/10a) ²		
	N 窒素	P リン酸	K 加里

使用資材				計画			
資材名	資材に含まれる成分の割合(%)			使用量 (kg/10a)	成分量(kg/10a) ³		
	N	P	K		N	P	K
合計							

- 堆肥の肥効率は、連用年数、堆肥の処理方法や副資材の種類、腐熟度の違い等によって異なるため、利用しようとする堆肥の肥効率等、肥効情報が示されている場合はそれに従うこと。
- 必要とする投入成分量は、通常の栽培管理で必要とする投入成分量(堆肥を施用しない場合に施用している化学肥料、有機質肥料等の成分量の合計)を記載してください。
- 堆肥を含む使用する資材の各成分量(窒素、リン酸)の合計が、必要とする投入成分量を超えないように施肥計画を策定してください。